



# はやし 幹 林もとひと県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 教員募集倍率低下、3.3倍に

# 優れた人材確保に懸念

12月定例県議会文教常任委員会

次代を担う青少年のため、教育改革に全力を挙げて取り組んでいる林幹人県議(成田市選出、4期)は12月県議会の文教常任委員会で、倍率が3.3倍まで落ち込んだ教員採用候補者選考について質問しました。林県議は倍

率の低下で優秀な教員が確保できるのか疑問として、県教育委員会の考えを聞きまし。さらに、教職員の働き方改革についても質問し、新たな取り組みにスピード感を持って取り組んでほしいと要望しました。林県議の質問と県教育委員会担当者の答弁を、實川隆議員の自民党代表質問と併せて紹介します。



文教常任委員会で質問する林幹人委員

林委員 教員採用候補者選考の結果についてうかがう。今年度の総募集人数1660人に対して6031人の志願者があつて1834人を合格とした。最終的な倍率は3.3倍で、昨年度の3.6倍に比べて0.3ポイント減となったことだが、なぜ倍率が低下したと捉えているのか。

林委員 一般企業では倍率7倍を目安としているところが多いと聞いている。7倍を下回ると質の確保が出来なくなるといふことだ。人気のある企業などは倍率100倍を超えるところもざらで、その中から選りすぐって優秀な人材を採用している。果たして3.3倍という

民間企業等の採用が活発になつていくこと、また、教員の長時間勤務等が要因となつていないのかと考えております。

林委員 志願者数を増やしていかないと資質にあふれる教員の確保は難しい。職場改善も不可欠。学校における働き方改革についてもうかがいたい。

この調査を行うに当たって、「子供と向き合う時間」については、休み時間や放課後等において、子供たちに補習したり、遊んだり、相談にのつたりする時間を示しております。

人間性や社会性を備えた力量ある教員を採用し、教員の質の担保に努めるとともに、より多くの志願者を確保するために、大学に向いて説明会を実施したり、県外にも選考会場を設けるなどしております。

### 働き方改革、目標下回る

### 新たな取り組みに挑戦を

林委員 10ポイントアップして64%だったらしいが、逆にいうと子供と向き合う時間が確保できていない教職員が100人中36人もいる。それから勤務時間を意識して勤務しているかという問いに対しての回答が71%だということ、勤務時間を意識しない教職員

が100人中29人もいるといつことだ。国のガイドラインを踏まえて県の方針を策定すると言っているが、今現在の取り組みが甘いのではないのか。せめて働き方改革の考え方がきちんと現場に浸透していれば、このような数字にならないと思う。

実際に現場に入つて見たら雑多な業務や人間関係に押しつぶされる形で情熱を失つてしまつという人が非常に多い。その打開策として平成28年2月の私の一般質問でTeach For Japanを説明した。こういう新たな取り組みにどんなチャレンジしていくべきだ。

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽どうぞ  
〒286-0134 成田市東和田569 なるげや陶器ビル3階D号  
TEL.0476-20-0884  
FAX.020-4622-9781  
Eメール:motohito884@gmail.com

# 補正予算

# 台風・大雨被害からの復旧・復興重点 被災者の生活再建目指す

## 12月定例県議会自民党代表質問

**質問** 台風15号・19号及び10月25日の大雨被害からの復旧・復興についてうかがう。甚大な台風等の被害を踏まえ、令和元年度12月補正予算は、どのような点を重視して編成したのか。また、財源をどのように確保したのか。

**知事** 私としては、被災された方々が、一日も早く元の生活に戻り、安心して暮らしてほしい。そして、「千葉に住んでよかった」「農業や経営をあきらめずに続けてよかった」と、感じていただければならないと強く決意し、今回の補正予算を編成したところです。

**このため、住家の一部損壊や、農業用ハウス等の再建、中小企業の再開などの**

支援については、被災者の方々や市町村の負担軽減を念頭に、補助対象の拡充や補助率のかさ上げなど、通常よりも踏み込んだ予算措置を行うことといたしました。

また、財源については、主に国庫補助金のほか、災害時の備えとしてこれまで積み立ててきた災害復興・

地域再生基金をほぼ使いきることなどなんとか確保いたしました。

**質問** 今後、復旧・復興に向けてどのように取り組んでいくのか。

**知事** 県では、このたびの災害からの復旧・復興を総合的かつ計画的に推進するため、10月21日に復旧・復興本部を設置しました。

また、11月13日には、県が取り組む各種復旧・復興支援策の全体像を県民にお示しするものとして、災害復旧・復興指針を策定したところです。

しましたが、今後、国に対し、特別交付税措置等についても、要望してまいります。と考えているところです。

この指針を基に支援策の充実と進捗管理を行うことで、一日も早い被災者の生活再建、産業の再生と本県の更なる地域振興に向けた取り組みを推進するとともに、市町村による復旧・復興に向けた取り組みを支援してまいります。



補正予算案などを審議した12月定例県議会

## 豚のCSF対策でワクチン接種要望

**質問** 豚のCSF対策でワクチン接種ができるよう、国に強く働きかけるべきと思うがどうか。

**副知事** 本県でも接種が可能となるよう、繰り返し国へ働きかけてまいります。

国へ要望してまいりましたが、現在、国では、野生イノシシのCSF感染が確認された県に限りワクチン接種を認めており、まだ本県では接種することができません。県では、引き続き、接種が可能となるよう、国へ働きかけてまいります。

## 圏央道と空港のアクセス強化

**質問** 県内の幹線道路ネットワークについてうかがう。圏央道と成田空港を直接結ぶ道路の検討状況はどうか。

**副知事** 成田空港の利便性を一層高め、スムーズな人・モノの流れを強化し、災害時における多重性・代替性を確保するためには、圏央道の大栄・横芝間を一日でも早く開通するとともに、圏央道と空港のアクセスを強化する必要があります。考えております。

このため、県では、圏央道と空港を直接結ぶ道路について、空港の更なる機能強化に伴う、既存道路の付け替えや第3滑走路などの空港施設の配置を踏まえ、成田国際空港株式会社と連携して検討を行ってまいります。

# 災害廃棄物39万4千ト

**質問** 災害廃棄物の処理についてうかがう。今後どのように市町村を支援していくのか。

**副知事** 県では、被災市町村を支援するため、9月11日から順次、国の職員と現地へ赴き、仮置場の設置に関する助言等を行うとともに、分別作業等を行う職員を派遣しました。

さらに、県内市町村間の相互応援が円滑に進むよう、協力可能な市町村の情報提供なども行ってきました。

また、県と市町村との役割分担や、廃棄物の種類別の処分方法、基本的な処理

# 来年度末までに処理

スケジュールなどを示した「千葉県災害廃棄物処理実行計画」を策定し、災害廃棄物の発生量を約39万4千トンと推計し、令和3年3月末までの処理を目標といたしました。

今後は、この計画に基づき、市町村の災害廃棄物処理実行計画の策定、国庫補助金申請や損壊家屋の撤去に係る事務の支援を行うなど、国や関係団体とも連携し、災害廃棄物の処理が適正かつ円滑・迅速に行われるよう、市町村の要望を踏まえながら支援してまいります。

# 児童虐待防止へ提言 児童相談所を抜本改革

**質問** 児童虐待防止対策についてうかがう。知事は、検証委員会の報告をどのように受け止めているのか。

**知事** 野田市の女児虐待死亡事例について、社会福祉審議会では外部委員による検証委員会を2月から開催し、これまで10回にわたり、22人からのヒアリングを含め、詳細かつ丁寧な検証をいただきました。

報告においては、児童相談所の対応上の問題や、関係機関との連携、児童相談所の体制等、多岐にわたる問題を指摘されており、その改善策について、提言をいただきました。

今回の報告については、虐待への対応の根幹にかか

わる事項について多くの厳しい指摘があり、大変重く受け止めています。

今後は、児童虐待防止対策をさらに充実・拡充するとともに、児童相談所の体制や児童虐待対応のあり方、個々の職員の能力の向上など児童相談所の抜本的な改革を進めていかなければならないという思いを強くしているところです。

引き続き、計画の具体化が早期に図れるよう、成田国際空港株式会社と連携して取り組んでまいります。

## 林もとひと県議・プロフィール

○略歴○	
昭和48年 9月	銚子市に生まれる
平成4年 3月	銚子市立銚子高校卒業
平成8年 3月	玉川大学文学部卒業
	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年 4月	空港グランドサービス入社
平成12年 4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年 4月	衆院議員・林幹雄秘書(成田市担当)
平成19年 4月	千葉県議会議員初当選(現在4期目)
○現職○	
●県議会	文教常任委員会委員
●自民党	ちば自民党青年局長